

生活保護問題対策全国会議10周年記念集会

人間らしく生きる 権利を求めて ～ジェットコースターの10年間～

2017年
6.24 土
13:00～17:00
(受付開始12:30)

会場 **しんらん交流館
大谷ホール**

京都市下京区諏訪町通六条下上柳町199

●JR京都駅烏丸口から徒歩10分



予約不要
無料
カンパ大歓迎

2007年6月3日、京都アスニーの
定員400名の会場で、520名もの参加者が
廊下まであふれかえった発足集会。
あの興奮からもう10年が経ちました。

北九州餓死事件、年越し派遣村、母子加算復活、
生活保護バッシング、生活保護基準の引き下げ…。
ジェットコースターのように、この間ほんとうにいろいろなことがありました。
総じて生活保護には厳しい逆風が吹き続けた10年間でしたが、
運動があったからこそ勝ち取れたものも少なくありません。

世界も日本も激動の今、10年間を振り返り、
これから10年の取り組みの糧となるような集会にしたいと思います。
ぜひ多数ご参集ください!

プログラム 進行／徳武聡子(司法書士、当会議事務局次長) (以下敬称略)

① **開会あいさつ** 小久保 哲郎 (弁護士、当会議事務局長)

② **リレートーク**

ジェットコースターの10年を振り返る

安形義弘(全生連会長)、○雨宮処凛(作家)、○稲葉剛(住まいの貧困に取り組むネットワーク世話人)、
○宇都宮健児(弁護士)、小野慶(司法書士)、○河添誠(元首都圏青年ユニオン書記長)、
北村祐司(中央労協事務局次長)、高木佳世子(筑紫女学大学准教授)、
○藤井克徳(日本障害者協議会代表)、○藤川里恵(AEQUITAS)、藤敷貴治(元北九州市職員)、
水島宏明(ジャーナリスト)、松尾徳大(精神科医)、○渡辺潤(生活保護面接員)
※あいさつ順・○はビデオメッセージ

③ **パネルディスカッション**

人間らしく生きる権利を求めて

〈コーディネーター〉

吉永 純(花園大学教授、当会議幹事、元ケースワーカー)

全国公的扶助研究会会長。福祉事務所20年、生活保護ワーカー12年の経験を生かして、貧困問題、生活保護、無料低額診療制度等を研究。著書は「生活保護「改革」と生存権の保障」(2015年) 明石書店など。

〈パネリスト〉

尾藤 廣喜 (弁護士、当会議代表幹事)

70年、厚生省入省。75年、京都弁護士会に弁護士登録後、数々の生活保護裁判を勝利に導いてきた。日弁連・貧困問題対策本部副部長。著書に「生存権」「生活保護「改革」ここが焦点だ!」(共著)など。

和久井 みちる (元生活保護利用者、当会議幹事)

大卒後、地方公務員等として福祉現場を経験。その後、DV(ドメスティック・バイオレンス)によってうつ病を発症し、失職。生活保護制度を活用しながら3年半を過ごす。現在は就労し、支援に関わりながら当事者として発信すべきことを日々模索中。

原 昌平(読売新聞大阪本社編集委員)

1998年からホームレス・生活保護問題を取材。医療、社会保障を中心に社会的弱者の側に立った報道を長年続けている。ネットのヨミドクターのページに「貧困と生活保護」の論考を長期連載。精神保健福祉士の資格も持つ。

④ **リレートーク**

これからの10年に向けて

福成 優香 (関西学生アルバイトユニオン(かんユニ)会計)

和田 信也 (生活保護基準引き下げ違憲訴訟大阪弁護士団事務局長)

渡辺 寛人 (NPO法人POSSE事務局長)

⑤ **閉会あいさつ** 尾藤 廣喜 (弁護士、当会議代表幹事)